

SDGs REPORT 2022

〈環境経営レポート実績報告〉

対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

発行：2022年5月25日

改訂版発行：2022年10月13日

守ろう、地球。創ろう、未来。



クリーンシステム

株式会社クリーンシステムは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

1.目次



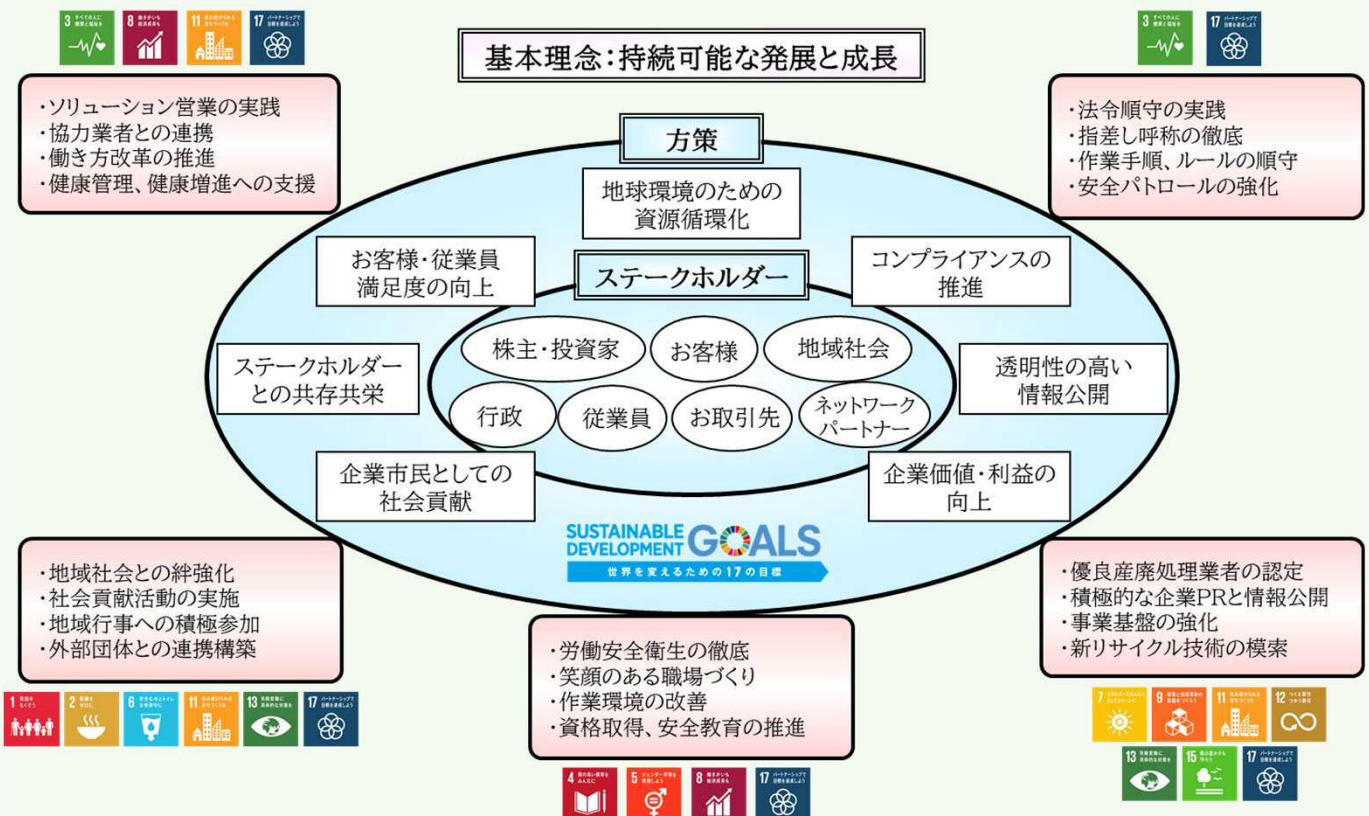
項目	内容	頁数
1目次		1ページ
2クリーンシステムグループ方針	・2021年度経営方針とCSR方針	2ページ
3企業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・事業内容 ・エコアクション21登録内容 ・事業推移（2017年度～2021年度） ・組織図 ・2021年度部門方針 	3ページ ～ 5ページ
4環境経営レポート		
①環境経営方針		6ページ
②環境経営システム実施体制図		
③環境経営目標と実施・評価(2021年度) 中長期環境経営目標(2022年～2025年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量 ・水道使用量 ・廃棄物排出量（廃棄物量削減の主な取り組み） ・物損事故の削減 ・地域貢献活動 	7ページ ～ 12ページ
④環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果、並びに違反・訴訟の有無		13ページ
⑤代表者による全体の評価と見直しと指示／環境活動認証ISO14001からエコアクション21への切り替えについて		14ページ
⑥産廃処理業者としての情報公開		
1)許可状況一覧	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物収集運搬業 ・特別管理産業廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物処分業 ・一般廃棄物収集運搬業・処分業 	15ページ ～ 16ページ
2)収集運搬業	<ul style="list-style-type: none"> ・車両一覧 ・低公害車の導入状況 ・積替え保管施設 	17ページ ～ 18ページ
3)処分業	<ul style="list-style-type: none"> ・本社：処理施設の概要 ・本社：処理工程図 ・関東支店：施設概要、処理工程図 	19ページ ～ 22ページ
4)処理実績	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬量(産廃、特管産廃、一廃) ・処分量(産廃、一廃) 	23ページ
⑦環境測定結果	・「水質」・「騒音」・「振動」・「臭気」と「放射線量」の測定結果	24ページ
5CSRレポート		
特集①従業員の命と会社を守るために	<ul style="list-style-type: none"> ・火災訓練 ・救護班活動 ・コロナウイルス感染症対策 	25ページ ～ 26ページ
特集②MS工事完成		27ページ ～ 28ページ
特集③太陽光発電による自家発電システム稼働		29ページ
特集④電気自動車用充電設備設置		
2021年度定例活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度CSR活動実績一覧 ・NPO法人県ひとり親家庭福祉会様へ支援金寄付 ・NPO法人県ひとり親家庭福祉会様へクッキー2缶寄贈 ・第66回山形市民総合社会福祉大会にて感謝状の受賞 ・きらやか産業賞の受賞 ・第一回「安全啓発ポスターコンクール」開催 ・ホワイトシャッタープロジェクト ・日本赤十字社様より銀色有功賞受賞 ・お客様アンケート調査を実施しました ・従業員満足度調査を実施しました ・県や市の代表選手として活躍する従業員の応援 ・山形の秋といえば、やっぱり芋煮会 	30ページ ～ 34ページ

2.クリーンシステムグループ方針【経営方針とCSR方針】

2021年度クリーンシステムグループ経営方針



2021年度 クリーンシステムグループCSR方針



3.企業概要

概要

会 社 名	株式会社クリーンシステム (英) Cleansystem CO., Ltd
代 表 者	代表取締役 鈴木 隆
所 在 地	【本社】 〒990-0845 山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5 T E L 023-644-2228 F A X 023-644-7010
	【CSRステーション】 〒990-2351 山形県山形市鑄物町6 西部工業団地内
	【関東支店】 〒277-0804 千葉県柏市新十倉二丁目7-8 十倉二工業団地内 T E L 04-7135-1253 F A X 04-7135-1263
業 務 内 容	廃棄物リサイクル事業、廃棄物収集運搬事業、リサイクル型解体事業 P C B 調査・処理支援、環境コンサルタント事業、I T 構築・運用支援事業
法 人 設 立 年 月 日	1978年(昭和53年) 2月
資 本 金 等	200百万円 (資本剰余金を含む)
売 上 高	3,488百万円 (2021年4月～2022年3月)
従 業 員 数	122人 (男性101人 女性21人) ※2022年4月1日現在
関 連 会 社	株式会社オーガホールディングス 株式会社県南チップ
パ ー ト ナ ー シ ッ プ 企 業	東北クリーン開発株式会社 株式会社クリーンパワー山形

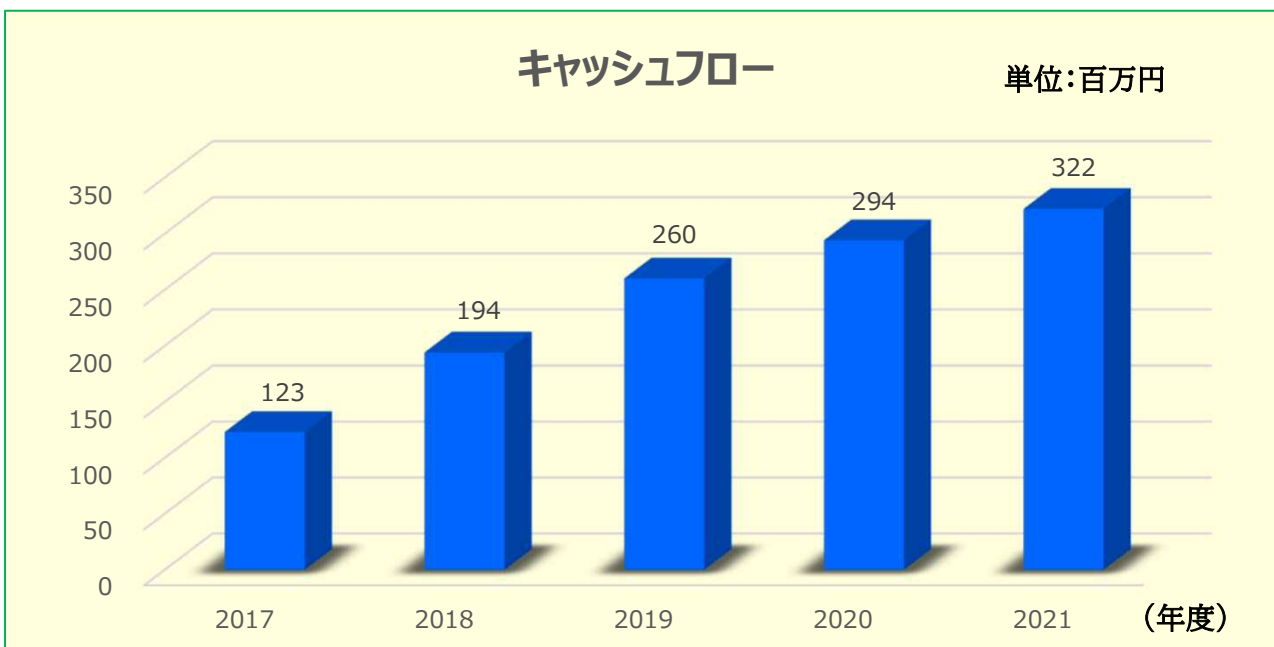
事業内容

特 定 建 設 業	山形県知事許可：解体工事業、建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業
産 業 廃 棄 物 処 分 業	山形市・柏市
産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業	山形県・宮城県・福島県・岩手県・秋田県・千葉県・茨城県・栃木県・埼玉県 群馬県・新潟市
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	山形県・宮城県・福島県・秋田県・群馬県
一 般 廃 棄 物 処 分 業	山形市
一 般 廃 棄 物 収 集 運 搬 業	山形市・中山町
所 属 団 体	一般社団法人 山形県産業資源循環協会 一般社団法人 山形県解体工事業協会 山形再生骨材協同組合 N P O 北日本木材資源リサイクル協会 一般社団法人 日本 P C B 全量廃棄促進協会
取 引 銀 行	きらやか銀行(中央営業部) 山形銀行(本店営業部) 商工中金(山形支店) 七十七銀行(山形支店) みずほ銀行(山形支店)

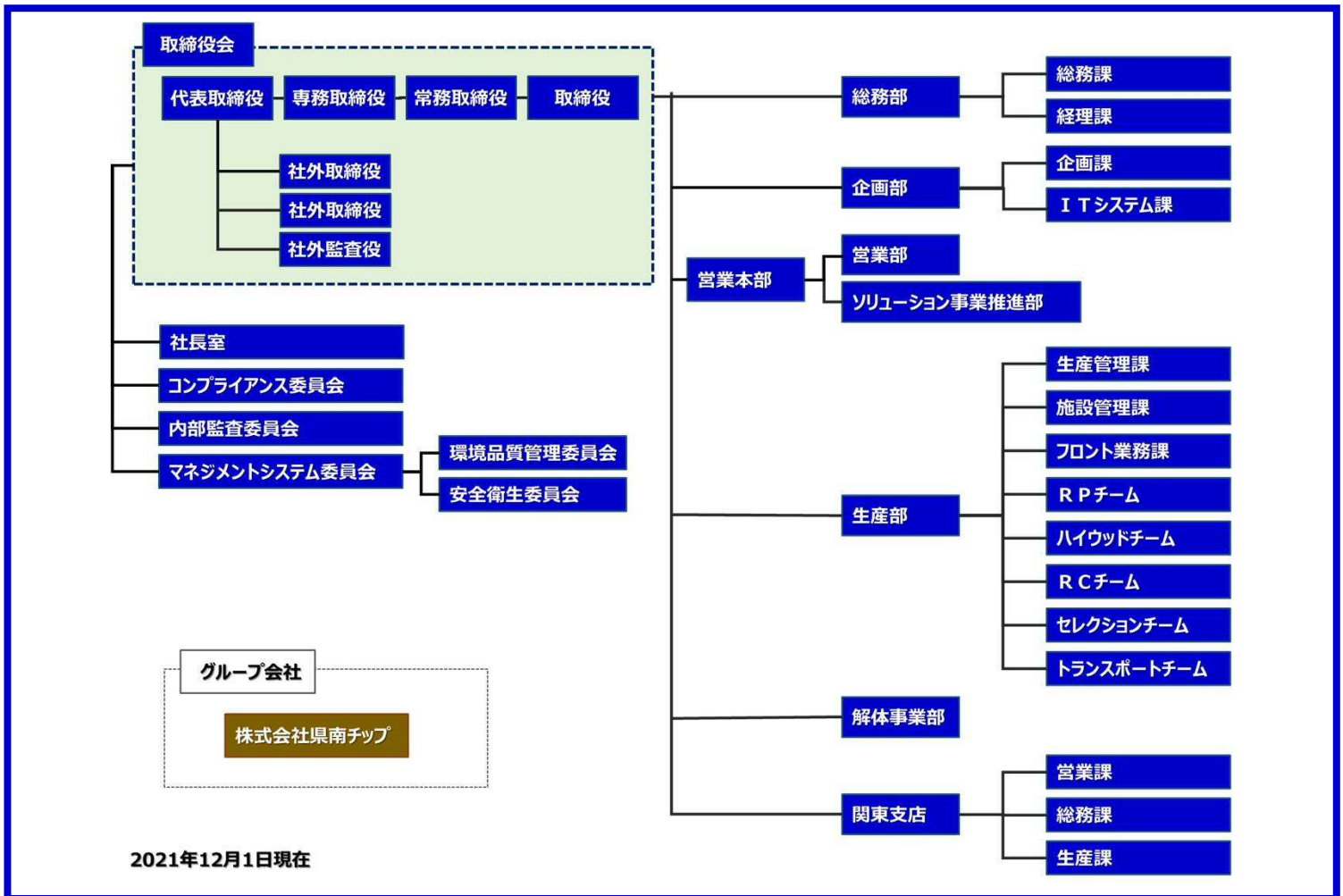
エコアクション21登録内容

業 務 内 容	産業廃棄物収集運搬業及び中間処理業 特別産業廃棄物収集運搬業 一般廃棄物収集運搬業及び中間処理業 解体工事業
環 境 管 理 責 任 者	企画総務本部 執行役員本部長 高田 裕太 ※2022年4月現在
連 絡 担 当 者	生産部 生産管理課 石川 渉太 ※2022年4月現在
登 録 範 囲	全組織・全活動
対 象 取 組 み 期 間	2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)

事業推移(2017年度~2021年度)



組織図



2021年度部門方針

◆ 総務部

- 地域No.1企業を目指す
- 全員参加型の会社づくり
- 適正人材の配置・育成・積極的な採用
- 安全で安心して長く健康で活躍できる職場づくり



◆ 企画部

- SDGsの推進
- 次世代が主役の組織力強化
- キャッシュフローの強靱化
- 新たな事業及びESG経営への挑戦
- 更なるシステム環境整備によるDX推進



◆ 営業部

- 攻めの姿勢で売上目標達成に挑む
～Fighting Spiritで現状を打破する～
- 安全・安心を提供し、無事故・無災害企業を目指す
- 解体売上5.4億円の達成と収益アップ
- 環境産業のリーダーとして情報の発信と、お客様ファーストのサービスを提供する
- 地域から信頼されるNo.1企業へ



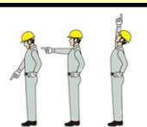
◆ ソリューション事業推進部

- Professional チーム
- Challenge 1億
- B P R



◆ 生産部

- 自責物損事故：10件以下
労災人身・火災：0件
- 経営資源(人・物・金)の効率的運用
- お客様に喜ばれる会社づくり
- 新CSの創造



◆ 解体事業部

- 事故の構造理解を深める
- 営業と一体となった受注と施工計画のレベルアップ
- 確実に利益を生む管理システムの構築
- 会議・打合せの目的を明確に



◆ 関東支店

- 違和感の抽出とその対応
- アフターコロナに向けた新たな収入源の模索
- 組織としての業務内容の充実と責任感



◆ 県南チップ

- 安全文化の基盤づくり
- 新生県南チップのガバナンス強化
- 取引先との関係強化とマーケット拡大
- パートナーアライアンスの強化と事業拡大



4. 環境経営レポート

① 環境経営方針

企業理念

われわれは、当社の業務を通し、現在の豊かな自然環境を次代に継承していくため、創造性を発揮した発展と成長の考えの下、エコアクション21を構築・運用することにより、積極的に脱炭素社会への貢献に努めます。

重点方針

1. エネルギーの利活用

CO2 排出量削減・気候変動対応に即するため、省資源・省エネルギーはもとより、再生可能エネルギーの利活用を図ります。

2. 環境経営目標の設定

環境経営方針を達成するため、技術的、経済的に可能な範囲で環境経営目標を設定し、必要に応じ見直しするなど、環境経営の継続的な向上に努めます。

3. 環境関係法規制等の順守

環境関連の法律・規則・条例等を遵守し、環境に悪影響を及ぼす物質の排出抑制、環境汚染の未然防止に努めます。

4. 持続可能な循環型社会の構築

サーキュラーエコノミー(循環型経済)の実現に寄与するため、ステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、リサイクル製品の普及はもとより研究開発に努めます。

5. 社会への貢献

C S R 活動及び S D G s の推進により、地域社会と融合した次世代クリーンシステムを構築するほか、ホームページでは廃棄物処理や資源循環等についても積極的に情報公開致します。

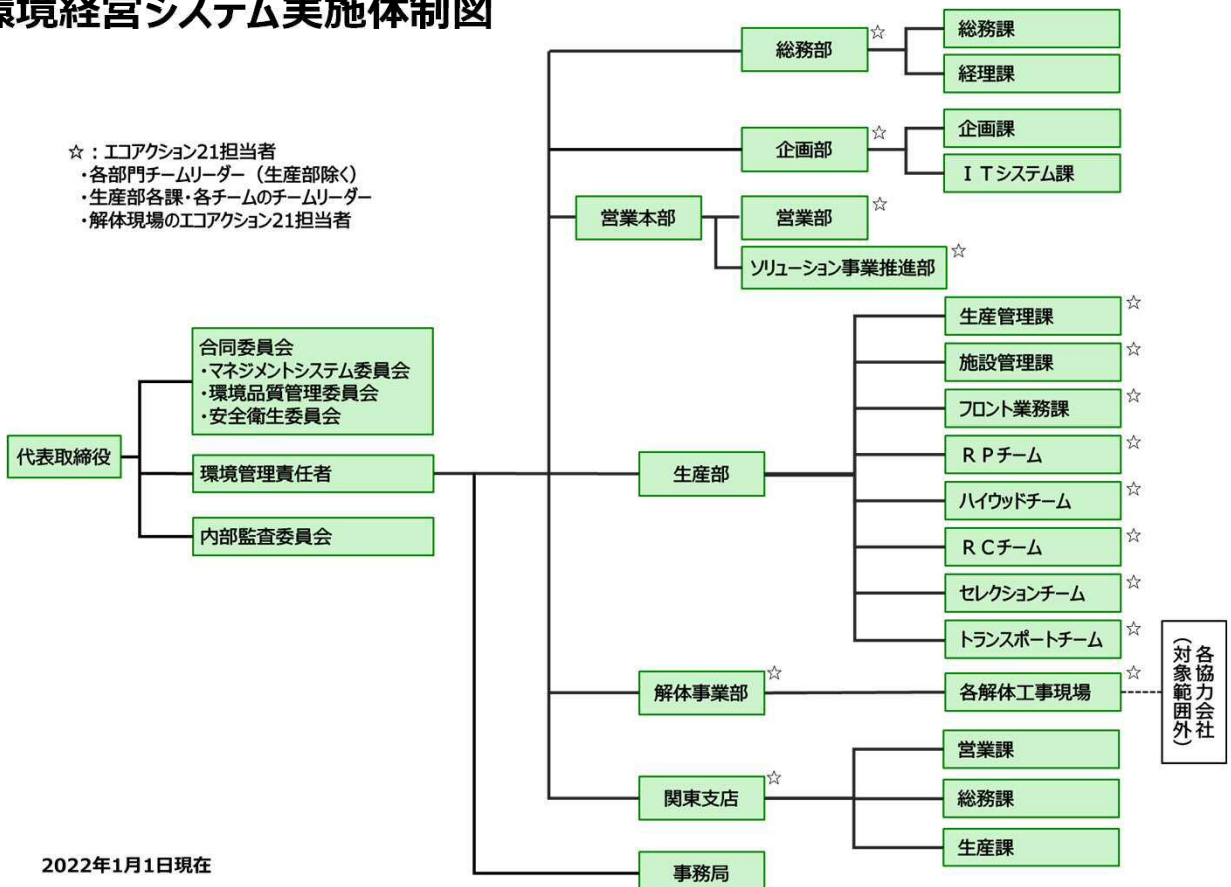
この環境方針は文書化し、全従業員に周知するとともに、社外に公表しその達成に努めます。

2004年 8月12日

2021年 5月25日

株式会社クリーンシステム
代表取締役 鈴木 隆

② 環境経営システム実施体制図



③環境経営目標とその実績・評価



【CO2排出量】

#1:達成状況は、目標値に対する実績値から達成率を算出し、◎～×で評価を行いました。

◎…達成率120%超、○…達成率80-120%、△…達成率50-80%未満、×…達成率50%未満、他

#2:電力のCO2排出係数は、まち未来製作所のH30年度調整後排出係数(R2.1.7公表)を使用した…0.513kg-CO2/kWh

2021年度環境経営目標と実績

	2020年度実績 (基準値)	2021年度				
		目標	実績値	達成状況	評価	
CO2排出量 (Kg-CO2/年)	2,101,144	基準値比 0.5%減	2,090,638	2,117,175	0.8%増	×
電気使用量 (kWh/年)	1,742,879	基準値比 0.9%減	1,727,193	1,865,423	7.0%増	×
軽油使用量 (ℓ/年)	433,359	基準値比 0.3%減	432,059	419,655	3.2%減	◎
ガソリン使用量 (ℓ/年)	34,037	基準値比 0.3%減	33,935	30,882	9.3%減	◎
灯油使用量 (ℓ/年)	4,118	基準値比 30%減	2,883	1,395	66.1%減	◎
LPG使用量 (kg/年)	1,223	基準値比 0.3%減	1,219	819	33.0%減	◎

※2021年9月から新管理棟で太陽光発電開始

2022年～2025年度 中長期環境経営目標

	2021年度実績 (基準値)	2022年度 目標値		2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値
CO2排出量 (Kg-CO2/年)	2,164,893	基準値比 0.6%増	2,177,882	基準値比 0.2%増	基準値比 0.1%減	基準値比 0.4%減
電気使用量 (kWh/年)	1,958,441	基準値比 1.6%増	1,989,776	基準値比 1.3%増	基準値比 1.0%増	基準値比 0.7%増
軽油使用量 (ℓ/年)	419,655	基準値比 0.3%減	418,396	基準値比 0.6%減	基準値比 0.9%減	基準値比 1.2%減
ガソリン使用量 (ℓ/年)	30,882	基準値比 0.3%減	30,789	基準値比 0.6%減	基準値比 0.9%減	基準値比 1.2%減
灯油使用量 (ℓ/年)	1,395	基準値比 10%増	1,535	基準値比 9.7%増	基準値比 9.4%増	基準値比 9.1%増
LPG使用量 (kg/年)	819	基準値比 40%減	491	基準値比40%減		

※CO2排出量及び電気使用量の基準値は、関東支店の電気使用量を加味しているため、2021年度の実績値と異なる

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容



項目	主な活動内容(2021年度)	評価	次年度の活動内容
CO2排出量	電気使用量	○	2021年度の活動内容と同じ
	軽油、ガソリン使用量	○	
	灯油、LPG使用量	○	

③環境経営目標とその実績・評価



【水道使用量】

#1:達成状況は、目標値に対する実績値から達成率を算出し、◎～×で評価を行いました。

◎…達成率120%超、○…達成率80-120%、△…達成率50-80%未滿、×…達成率50%未滿、他

2021年度環境経営目標と実績

	2020年度実績 (基準値)	2021年度				
		目標	実績値	達成状況	評価	
水使用量 (m ³ /年)	データなし	実績把握	—	92,975	—	—
上水使用量 (m ³ /年)	2,240	基準値同等	2,240	2,250	0.4%増	○
地下水使用量 (m ³ /年)	データなし	実績把握	—	90,725	—	—

2022年～2025年度 中長期環境経営目標

	2021年度実績 (基準値)	2022年度 目標値		2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値
水使用量 (m ³ /年)	92,975	基準値比 0.2%減	92,750		基準値比0.4%減	
上水使用量 (m ³ /年)	2,250	基準値比 10%減	2,025		基準値比20%減	
地下水使用量 (m ³ /年)	90,725	基準値同等	90,725		基準値同等	

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

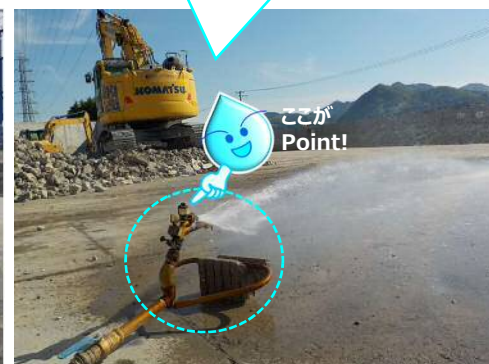
主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

項目	主な活動内容(2021年度)	評価	次年度の活動内容
水使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、手洗い、洗車時の節水励行（コロナ等感染症流行時は除く） ・洗車ガン付きホースの使用 	○	2021年度の活動内容と同じ
	地下水使用量	・散水状態の管理	

事務所内の手洗い場はすべてセンサー水栓を採用し、節水に努めております。

洗車用のホースには手元で操作ができるスプレーガンを使用しております。

作業場内で使用する粉じん飛散防止用散水機です。この散水機は無人で広範囲に散水できるように改良しました。



③環境経営目標とその実績・評価



【廃棄物の排出量】

#1:達成状況は、目標値に対する実績値から達成率を算出し、◎～×で評価を行いました。

◎…達成率120%超、○…達成率80-120%、△…達成率50-80%未満、×…達成率50%未満、他

2021年度環境経営目標と実績

	2020年度実績 (基準値)	2021年度				
		目標	実績値	達成状況	評価	
廃棄物排出量削減 (kg/年)	データなし	実績把握	—	80,541	—	—
一般廃棄物排出量 (kg/年)	データなし	実績把握	—	3,036	—	—
産業廃棄物排出量 (kg/年)	データなし	実績把握	—	77,505	—	—
建設廃棄物 リサイクル率アップ (w t %/年)	38.0	基準値比 0.3%増	38.1	90.9	139.2%増	◎
化学物質使用の 適正管理(kg/年)	17.6	基準値同等	17.6	14.1	20%減	◎
受託産業廃棄物の リサイクル率 (w t %/年)	本社：87.2	基準値比 0.3%増	87.5	86.8	0.5%減	×
	関東支店：85.5	基準値比 0.3%増	85.8	87.0	1.8%増	◎

2022年～2025年度 中長期環境経営目標

	2021年度実績 (基準値)	2022年度 目標値	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値
廃棄物排出量削減 (kg/年)	80,541	基準値同等	80,541	基準値同等	基準値同等
一般廃棄物排出量 (kg/年)	3,036	基準値比 0.3%減	3,026	基準値比 0.6%減	基準値比 0.9%減
産業廃棄物排出量 (kg/年)	77,505	基準値同等	77,505	基準値同等	基準値同等
建設廃棄物 リサイクル率アップ (w t %/年)	90.9	基準値比 0.3%増	91.2	基準値比 0.4%増	基準値比 0.5%増
化学物質使用の 適正管理(kg/年)	14.1	基準値同等	14.1	基準値同等	
受託産業廃棄物の リサイクル率 (w t %/年)	本社：86.8	基準値比 0.3%増	87.0	基準値比 0.4%増	基準値比 0.5%増
	関東支店：87.0	基準値比 0.3%増	87.3	基準値比 0.4%増	基準値比 0.5%増

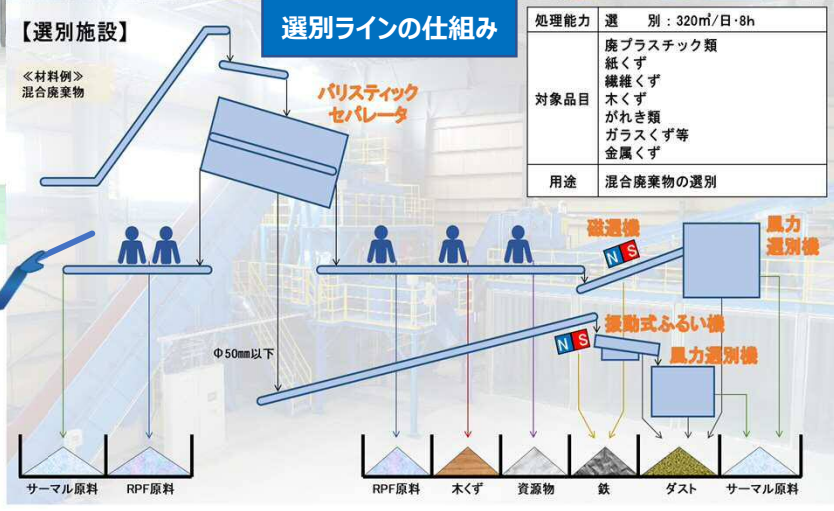
環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

項目	主な活動内容(2021年度)	評価	次年度の活動内容
廃棄物排出量	一般廃棄物、 産業廃棄物排出量 (建設廃棄物を除く)	○	2021年度の 活動内容と同じ
	建設廃棄物の リサイクル率アップ	○	
化学物質使用の適正管理	・塗料等の数量管理 ・代替品の調査、検討	○	
受託廃棄物のリサイクル率アップ	・受託廃棄物の搬入管理を実施 ・選別工程での残渣率減少 ・焼却物のRPF化の検討	○	

= 当社の廃棄物量削減の主な取り組み =

選別処理を一部自動化し、作業員の負担軽減と処分費の削減が実現しました。



最新の自動選別機(パリストックセパレータと風力選別機)と作業員の手選別により、リサイクル可能な廃棄物を効率的に選別しております。



全社的にペーパーレス化を推進し、紙やトナーの使用率を削減できました



今までは、紙に手書きしていた発注書を電子化し、コピー用紙の印刷枚数を削減することができました。

セキュリティ印刷設定を活用し、パソコンから送ったデータを一時的に印刷機に蓄積し、送信ミスなどによる不要な印刷を削減しました。

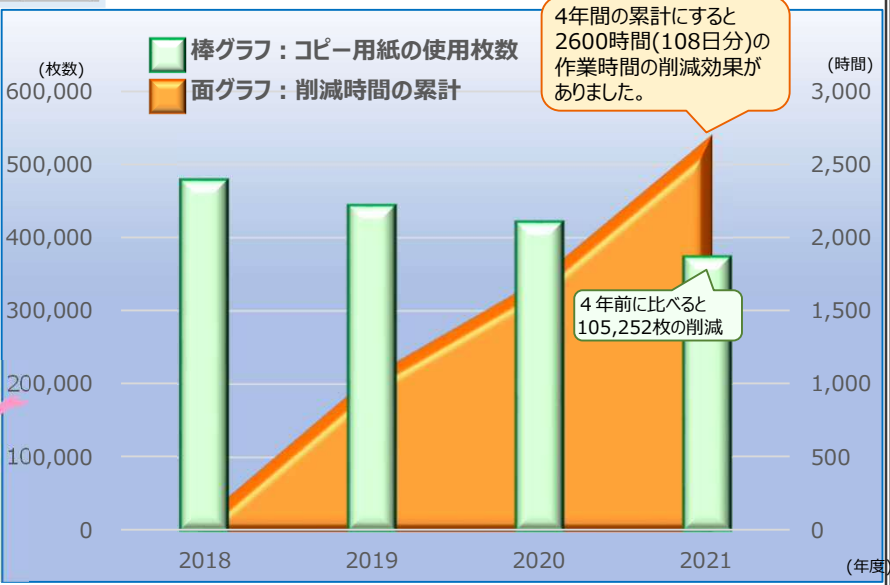
会議室の大きなスクリーン及びWeb会議システムに資料を映すことにより、紙媒体での会議資料を廃止しました。紙の使用率削減効果の他に、会議資料の綴じ込み等業務負担削減にもつながりました。



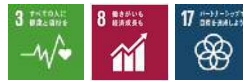
ペーパーレス化実績

- 紙媒体での会議資料の廃止
 - 各種稟議書の電子化、捺印レス化
 - 発注書の電子化
 - セキュリティ印刷設定
- 以上の他様々な取り組みにより、年々コピー用紙の購入枚数にして、直近4年間で約20%の削減率を達成した。

ペーパーレス化を実現した結果、会議資料のコピーやホチキス留め等の作業時間及び稟議書の回覧やファイリング等の管理時間の削減ができました。4年間の累計では、2,600時間、日数にすると108日分の作業時間の削減になります。



③環境経営目標とその実績・評価



【物損事故の削減】

#1: 達成状況は、目標値に対する実績値から達成率を算出し、◎～×で評価を行いました。

◎…達成率120%超、○…達成率80-120%、△…達成率50-80%未満、×…達成率50%未満、他

2021年度環境経営目標と実績

	2020年度実績 (基準値)	2021年度				
		目標	実績値	達成状況	評価	
物損事故件数 (件/年)	18件	—	10件以下	12件	—	×

2022年～2025年度 中長期環境経営目標

	2021年度実績 (基準値)	2022年度 目標値	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値
物損事故件数 (件/年)	12件	10件以下			

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

項目	主な活動内容(2021年度)	評価	次年度の活動内容
物損事故削減	<ul style="list-style-type: none"> ・KYTの実施 ・ヒヤリハットの提出、対策 ・週間重点目標の設定・KYTの実施 ・安全パトロール ・ドライバー日誌情報、関連写真提出 ・職長会議の定期開催 ・指差し呼称の完全実施 	△	2021年度の活動内容と同じ

2021年度クリーンシステム安全スローガン

年間安全スローガン『小さな気づきが仲間を守る のこさず摘み取る危険の芽』

季節スローガン

春『ヒヤリで済んだあの体験 今後に活かし安全作業』

夏『無理しない・させない仲間の思いやり みんなで声かけ水分補給』

秋『気配り 声掛け 明るい職場 みんなで守る心の健康』

冬『冬の道 一歩先読む 安全運転』

毎年従業員より、「年間・季節の安全衛生スローガン」を募集し、安全意識の向上に努めております。



「ヒヤリハット君」
※当社の安全啓発キャラクター

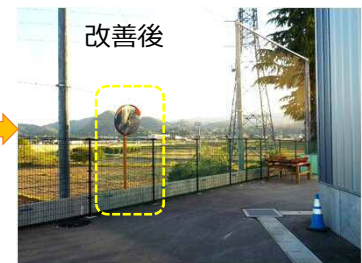
安全担当者による安全パトロールをほぼ毎日実施するほか、安全衛生委員会による安全パトロールを月1回実施しております。

安全パトロールで見つけた危険箇所
指摘：建物が死角になり、前方からの人や車両の確認が出来ない。
→接触事故の危険性がある。

死角部の確認が出来るようにカーブミラーを設置しました。



安全パトロールではいつもと違う視点から危険と思われるところを見つけ出し、指摘・改善しております。



危険に気づきやすく、事故を未然に防ぐ、また環境にも配慮した「見える化」を実施しております。



③環境経営目標とその実績・評価



【地域貢献活動】

#1:達成状況は、目標値に対する実績値から達成率を算出し、◎～×で評価を行いました。

◎…達成率120%超、○…達成率80-120%、△…達成率50-80%未満、×…達成率50%未満、他

2021年度環境経営目標と実績

	2020年度実績 (基準値)	2021年度				
		目標	実績値	達成状況	評価	
地域貢献活動の実施 (件/年)	20件	—	22件	18件	—	○

2022年～2025年度 中長期環境経営目標

	2021年度実績 (基準値)	2022年度 目標値	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値
地域貢献活動の実施 (件/年)	18件	19件以上			

環境経営計画に基づき実施した取組内容・評価

主な取組内容と取組結果並びに次年度の取組内容

項目	主な活動内容(2021年度)	評価	次年度の活動内容
地域貢献活動の実施 ※赤字はコロナ禍のため 中止した活動です	<ul style="list-style-type: none"> 献血活動の実施 (2回) エコキャップ、プルタブの回収 (3回) 周辺地域行事への参画 (5件) 河川清掃の実施 (1回) 学生、住民等の場内視察への対応 (1回) 西部工業団地清掃活動 (4回) 災害時非常電源による給油共同訓練 (1回) マイロード活動の実施 (7回) 山形県解体工事業協会の防災訓練への協力 (1回) その他 	○	2021年度の活動内容と同じ

献血活動(年2回)



2014年から続いている献血活動。当社従業員の間でも、献血の大切さや必要性が根付いており、毎回多くの従業員が献血に協力しております。



災害時非常電源による供給訓練



日頃から当社の廃棄物処理事業にご理解とご協力をいただいている近隣2地区と、「大規模災害時等非常時にガソリンを提供する」協定を結んでおります。災害で停電しても、ガソリンをムーズに給油できるよう合同訓練を行いました。

エコキャップ・プルタブの回収活動(年3回)



ペットボトルのキャップやプルタブ(アルミ缶)を協力会会員の皆様や従業員に協力していただき回収しております。これらを売却した収益から車いす等を購入し、近隣の福祉施設等への寄贈活動を行っております。

マイロード清掃活動(4月～11月/月1回)



1回の清掃活動で集められたゴミ



会社周辺の道路清掃で特に多かったゴミは、たばこの吸い殻・プラスチックごみ・空き缶などの自然には還らないゴミでした。私たちの活動を見てもらうことで、ポイ捨ての抑制につながれば嬉しいです。

④環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果、並びに違反・訴訟の有無

当社が遵守すべき主な環境関連法規等

環境関連法規等の名称	主な遵守すべき内容	遵守状況
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・就業制限(移動式クレーン：1 t 以上／玉掛け：1 t 以上／ガス溶接、フォークリフト：1 t 以上／重機) ・定期自主検査(天井クレーン／移動式クレーン／重機) 	○
廃棄物処理法 (山形県条例) (秋田県条例)	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬/処分契約(排出事業者/廃棄物処理業者、解体工事を含む) ・マニフェスト管理(回付管理、帳簿の備付、交付状況報告、等) ・実績報告(産廃/一廃処理状況報告、多量排出事業者) ・廃棄物の保管基準、表示の管理 ・県外産業廃棄物処分に関する事前協議 	○
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・請負契約、発注者への報告 ・分別解体、再資源化 	○
消防法 (危険物に関する政令、 山形市火災予防条例)	<ul style="list-style-type: none"> ・軽油・ガソリン地下タンクの管理 ・指定可燃物(再生資源燃料、紙くず、木くず、合成樹脂)の管理 ・少量危険物庫、灯油タンクの管理 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・第一種特定製品(エアコン等)の点検及び記録の製品廃棄後3年保管 ・第一種特定製品廃棄時の回収依頼書(A票)、引取証明書(E票)の3年保管 ・解体工事では、元請業者からの第一種特定製品の事前確認書面を3年保管 ・第一種特定製品引取り時の引取証明書(E票)の確認、3年保管 ・二次事業者への引渡し時の引取証明書(E票)コピーの提出 	○
浄化槽法	浄化槽の維持管理(保守点検、清掃、11条検査、等)	○
山形市との公害防止協定	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染防止法等に係る基準の順守 ・敷地境界における水質、騒音、振動、臭気の測定及び報告 	○

=法令等の違反、訴訟の有無=

2021年7月のEA21審査で、火災予防条例違反を指摘され「指摘事項是正報告書」を審査員に提出し、受理されました。是正処置を行い、現在維持管理中です。

関係当局からの違反等の指摘、指導、及び環境関連訴訟はありません。

外部からの苦情、要望に対しては、コミュニケーション記録を作成し対応しております。

⑤ 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境経営方針の変更の必要性

・変更の必要はない。

2. 環境経営目標及び環境経営計画が、達成・実施されていない場合の処置

・更に電気使用量詳細を把握できるよう努め、目標達成を図る事。

3. 実施体制の変更の必要性

・2022年4月の組織変更を反映した実施体制を確認した。

・変更の必要なし。

4. その他

・EMSの観点から、今年4月に開始されたFIP制度(改正FIT制度)の研究を行う事。

2022年5月6日
株式会社クリーンシステム
代表取締役 鈴木 隆

環境活動認証ISO14001からエコアクション21への切り替えについて

2004年8月に環境活動に関する国際規格ISO14001の認証を取得しました。当社の解体工事業やリサイクル業といった本業がまさに環境活動であり、会社の経営課題に合わせた設定ができるISO規格への取り組みを強化してきたことで組織や役割等の明確化からスタートし、当社業績や発展に大きく貢献することができました。

ただ、ISO14001は国際規格であり規定の表現が非常にわかりにくいところがあるだけでなく、文書要求が多く、また、審査維持コストが比較的高いということ課題として持っておりました。



一方、エコアクション21は国内規格であります。その要求事項はISO14001とほとんど相違がない他、文書要求は比較的少なく、また規定の表現が非常にわかりやすく、審査維持コストはISO14001の半分程度であることがメリットとしてある等の理由から、エコアクション21への移行を判断いたしました。

エコアクション21の認証取得によりCO2削減、化学物質削減、節水など、ISO14001の規格では取り組みにくかった廃棄物削減以外の内容が具体的に記されており、さらには将来への環境目標も具体的に記す必要があることから、環境活動の幅を広げ、環境企業として目標を明確にしてさらなるレベルアップを目指して取り組んでおります。

EA21事務局 伊藤・大澤

⑥産廃処理業者としての情報公開

1)許可状況一覧

				産業廃棄物収集運搬業許可品目 (◎は積替え保管)							
許可名称	届出先	許可番号	許可の有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	
産業廃棄物収集運搬業	優良認定	山形県	第00601008236号	自 平成31年3月27日 至 令和8年3月26日	○	○	○	○	○	○	○
		山形市	第13011008236号	自 平成31年3月27日 至 令和8年3月26日	○	◎	○	○	○	◎	○
		岩手県	第00300008236号	自 平成28年3月7日 至 令和5年3月6日	○	○	○			○	○
		宮城県	第00400008236号	自 平成27年11月19日 至 令和4年11月18日	○	○	○	○	○	○	○
		秋田県	第00505008236号	自 平成28年2月18日 至 令和5年2月17日	○	○	○			○	○
		福島県	第00707008236号	自 平成28年5月25日 至 令和5年5月12日	○	○	○	○	○	○	
		栃木県	第00900008236号	自 令和4年2月18日 至 令和10年2月17日	○	○	○	○	○	○	○
		群馬県	第01000008236号	自 令和2年12月4日 至 令和9年12月3日	○	○	○	○	○	○	○
		埼玉県	第01101008236号	自 平成28年7月20日 至 令和5年7月4日	○	○	○	○	○	○	○
		千葉県	第01200008236号	自 令和元年12月10日 至 令和8年10月21日		○	○			○	○
		新潟市	第05902008236号	自 平成28年11月19日 至 令和5年11月18日		○	○			○	○
		茨城県	第00801008236号	自 令和元年7月8日 至 令和6年7月7日	○	○	○	○	○	○	

				特別管理産業廃棄物 (廃PCB及びPCB汚染物は低濃度PCBに)							
許可名称	届出先	許可番号	許可の有効期限	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃PCB	PCB汚染物	廃石綿等	ダイオキシン類 燃え殻	
特別管理産業廃棄物	優良認定	山形県	第00651008236号	自 令和3年4月21日 至 令和10年4月2日	○	○	○	○	○	○	○
		宮城県	第004450008236号	自 令和3年7月20日 至 令和6年12月22日	○	○	○	○	○	○	○
		秋田県	第00555008236号	自 令和3年10月21日 至 令和8年10月20日	○	○	○	○	○	○	○
		福島県	第00757008236号	自 令和3年7月2日 至 令和8年7月1日	○	○	○	○	○	○	○
		群馬県	第01050008236号	自 平成31年3月7日 至 令和6年3月6日				○	○		

				産業廃棄物処分業許可品目 処分法ごと (特別産業廃棄物)						
許可名称	届出先	許可番号	許可の有効期限	処分法	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	
産業廃棄物処分業	優良認定	山形市	第13021008236号	自 令和2年3月23日 至 令和8年3月26日	破碎処分		○	○	○	○
					切断処分		○	○		
					選別処分	○	○	○	○	
					分離処分		○	○		
					減容固化処分		○	○	○	○
					圧縮梱包処分		○	○	○	○
	柏市	第11120008236号	自 平成29年2月9日 至 令和6年1月29日	破碎処分		○	○	○	○	
圧縮処分					○	○		○		

※すべての種類で自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物を除く											
木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず コンクリート 陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	石綿含有 廃棄物	水銀使用 製品廃棄物	水銀含有 ばいじん等
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○			
○	○	○	○	○	○	○	○	○			
○	○	○	○	○	○	○	○	○			
○		○		○	○		○	○			
○	○		○	○	○	○	○	○		○	○
○	○	○	○	○	○		○	○		○	○
○	○	○		○				○			
○	○	○	○	○	○		○				
○	○				○		○				
○	○	○	○	○	○	○	○	○			

に 限る)
キシ ン類
ばい じん
○
○
○
○

優良認定許可件数

産業廃棄物収集運搬業 11件

特別管理産業廃棄物収集運搬業 1件

産業廃棄物処分量 2件

品目であるものは除く)		
金属くず	ガラスくず コンクリート 陶磁器くず	がれき類
○	○	○
○	○	○
○	○	
○	○	
	○	

許可名称	届出先	許可番号	許可の有効期限	品目	
一般 廃棄物	収集 運搬 業	山形市	山形市指令廃 第49-33号	自 令和4年4月1日 至 令和6年3月31日	ごみ
		中山町	11号	自 令和2年10月10日 至 令和4年10月9日	ごみ
	処 分 業	山形市	山形市指令廃 第50-4号	自 令和4年4月1日 至 令和6年3月31日	ごみ
中間処理（破砕処分・減容固化処分） 木くず・コンクリート類・ガラス・陶磁器くず 紙くず・廃プラスチック類・金属くず					

⑥産廃処理業者としての情報公開

2)収集運搬業

車両一覧

2022年3月末現在

運搬車両の車種		台数	運搬車両の車種		台数
小型移動式クレーン車	12t車	1台	ダンプ車	10t車	2台
	8t車	1台		6t車	2台
	6t車	5台		4t車	2台
	4t車	2台		3t車	1台
	2t車	3台		2t車	1台
アームロール車	12t車	2台	ウイング車	12t車	2台
	6t車	5台	その他車両	バン	1台
	4t車	4台		軽トラック	2台
パッカー車	10t車	1台	合計		39台
	6t車	2台			

低公害車の導入状況

低排出ガス基準	台数	全体の割合
平成28年規制適合車	8台	21%
平成22年規制適合車	13台	33%
平成21年規制適合車	7台	18%
平成19年規制適合車	2台	5%
平成17年規制適合車	7台	18%
平成10年規制適合車	1台	3%
平成6年規制適合車	1台	3%

低排出ガス仕様の車両への
入れ替えを随時行っております。



廃棄物の状況に合わせて、コンテナも多種多様準備しております。



⑥産廃処理業者としての情報公開

2)収集運搬業

【積替え保管場所】

施設の所在地

山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5

産業廃棄物の種類	ゴムくず
施設の面積	2.6㎡
保管上限量	2.0㎡
積上げ高さ	1.0m(容器)



積替え保管場所
(ゴムくず)

産業廃棄物の種類	石綿含有廃棄物 【廃プラスチック類・がれき類 ガラスくず等・金属くず】
施設の面積	2.6㎡
保管上限量	2.0㎡
積上げ高さ	1.0m(容器)



積替え保管場所
(石綿含有廃棄物)

積替え保管場所
(水銀使用製品産業廃棄物)



産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物 【廃プラスチック類 金属くず・ガラスくず等】
施設の面積	3.5㎡
保管上限量	2.9㎡
積上げ高さ	2.0m(容器)

産業廃棄物の種類	廃乾電池【汚泥・金属くず】
施設の面積	1.3㎡
保管上限量	0.2㎡
積上げ高さ	1.0m(容器)

積替え保管場所
(廃乾電池)

その他

過積載にご注意ください

安全に回収・運搬できるコンテナ

点線(コンテナの線)以上高く積まないでください!

クリーンシステム

コンクリート、ガラス等の重量物は、コンテナ半分程度の積載で交換をお願いします

積み過ぎ(例)
運搬中に飛散の危険性があります

クリーンシステム

コンテナに入れられないもの

※以下の物をコンテナに混載してしまうと、運搬・保管・取扱中に「飛散」「発火」「漏洩」等の危険性があります。

乾電池・充電電池 バッテリー類	小型家電 (バッテリー内蔵機器)	スプレー缶・消火器 ガスボンベ類
薬品・オイル・洗剤 ペンキ等の液体物	ライター マッチ類	トランス 安定器等
医療系ごみ (注射器等)	セメント類 (粉・泥状)	蛍光灯 水銀使用製品
残土・焼却灰・炭等	生ごみ	コーキング材 シーリング材
	太陽光パネル	廃石棉 (石綿含有物)
		家電リサイクル対象機器

ご不明な点は、お気軽にご相談ください。

コンテナには過積載防止やコンテナに入れられない廃棄物等をわかりやすく表示することで、事故を未然に防ぐ工夫もしております。



3) 処分量(本社工場)

【産業廃棄物の処理施設の概要】

場 所：山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5

施設の種類	設置年月日	処理する産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
木材リサイクル施設	1992/12/10	木くず	200 t / 日(8時間)	破碎 ・スイングハンマー方式	・MHM-300 B H (250kW) ・キングシュレダSK200C型 (190kW) ・二軸破碎機(22kW×2) ・選別機 ・金属検知器 ・チップサイロ(飛散・発じん防止)
プラスチック等リサイクル施設	2006/9/1	廃プラスチック類 紙くず・木くず 繊維くず	破碎 54.6 t / 日(12時間) 減容固化 43.7 t / 日(12時間)	破碎 ・一軸せん断破碎 減容固化 ・押出し成形方式	・破碎機(250kW、75kW) ・成形機(400kW) ・散水ノズル(発じん防止) ・集塵設備(スクラパー式)
分離施設	2007/1/1	廃プラスチック類 紙くず	1.3 t / 日(8時間)	切断 ・巻取り方式	・リワインダーマシン
切断施設	2006/3/1	廃プラスチック類 紙くず	3.8 t / 日(8時間)	切断 ・切断方式	・多目的油圧切断機
混合廃棄物選別施設	2020/3/24	廃プラスチック類 紙くず・木くず 金属くず がれき類 ガラスくず等 繊維くず・汚泥	320m ³ /日(8時間)	選別 ・選別装置(反発式)	・選別装置(9.2kW) ・集塵機(5.5kW) ・エプロンコンベア(5.5kW) ・風力選別機(27.8kW) ・風力選別機(3.7kW)



施設の種類	設置年月日	処理する産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
コンクリートリサイクル施設	2018/8/30	がれき類	800 t /日(8時間)	破碎 ・圧縮破碎方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョークラッシャー(75kW) ・磁選機 ・遮音壁(破碎音拡散防止) ・散水設備(粉塵対策) ・塀 (処理物の敷地外への流出防止) ・ラバースクリーン(騒音防止)
廃プラスチック類の破碎施設及び木くず又はがれき類の破碎施設	2020/2/1	廃プラスチック類 紙くず・木くず 金属くず・がれき類 ガラスくず等 繊維くず	破碎 249.6 t /日(12時間)	破碎 ・二軸せん断破碎	<ul style="list-style-type: none"> ・二軸破碎機(200kW) ・磁選機 ・排出コンベア
圧縮梱包施設	2020/2/25	廃プラスチック類 紙くず・木くず 金属くず がれき類 ガラスくず等 繊維くず	370.9 t /日(12時間)	圧縮梱包 ・圧縮マルチジャン ポプレス機	<ul style="list-style-type: none"> ・圧縮梱包機 ・投入コンベア ・ラッピング機



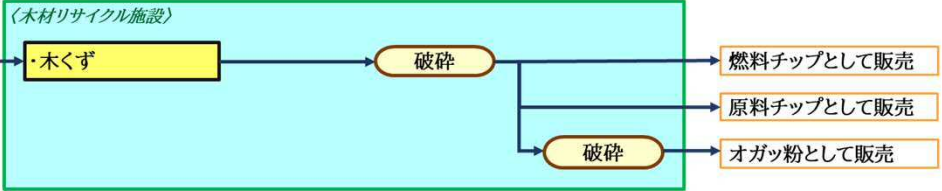
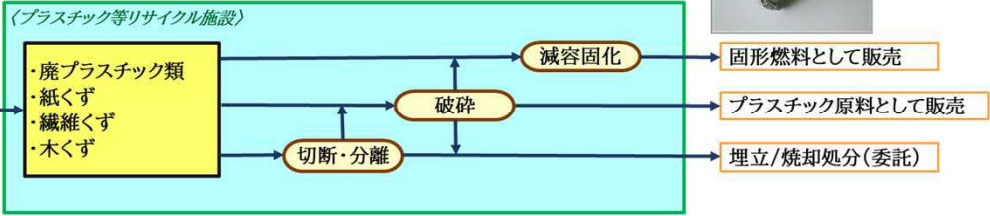
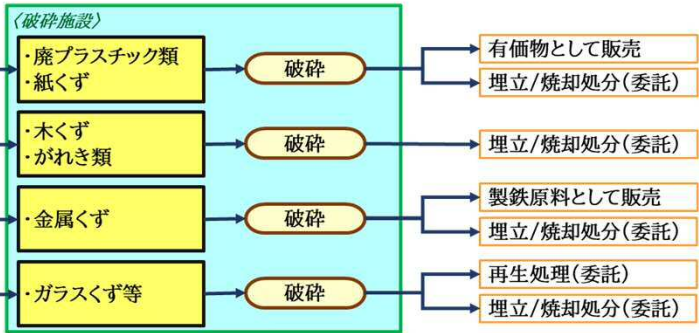
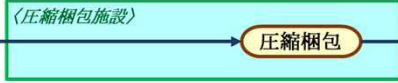
処理工程図(本社工場)

発生廃棄物

収集運搬業者(自社含む)

持込

- 【混合廃棄物】
- ・廃プラスチック類
 - ・紙くず
 - ・繊維くず
 - ・木くず
 - ・金属くず
 - ・ガラスくず等
 - ・がれき類
 - ・汚泥



⑥産廃処理業者としての情報公開

3)処分業(関東支店)

【産業廃棄物の処理施設の概要】

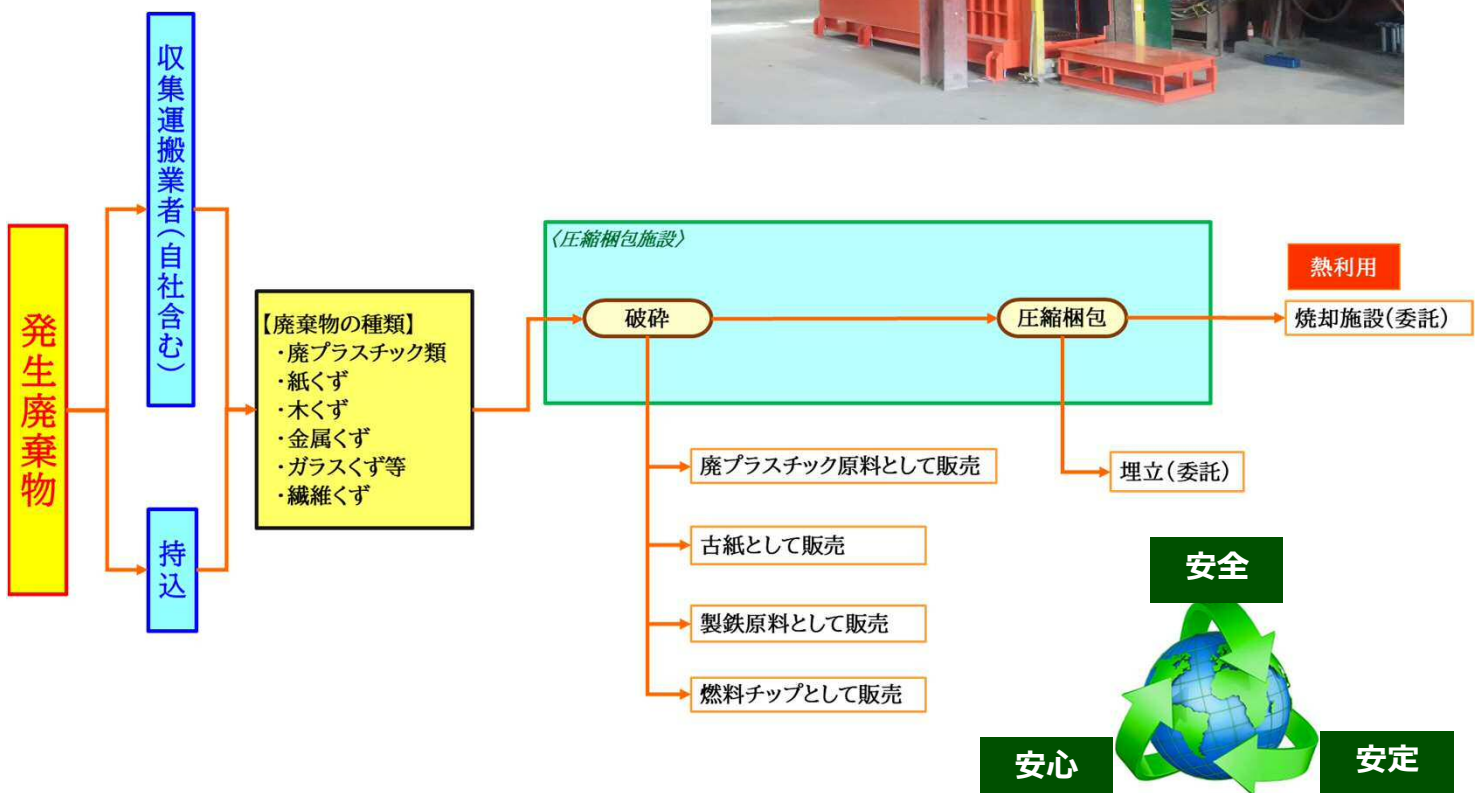


場 所：千葉県柏市新十余二7-8 十余二工業団地内

施設の種類	設置年月日	処理する産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
廃プラスチック類及び木くず又はがれき類の破砕施設	2012/1/18	廃プラスチック類	67.2t/日(24時間)	破砕機 ・一軸せん断破砕	・破砕機(150kW) ・磁選機 ・投入コンベア
		紙くず	67.2t/日(24時間)		
		木くず	84.0t/日(24時間)		
		繊維くず	40.8t/日(24時間)		
		金属くず	86.4t/日(24時間)		
ガラスくず等	93.6t/日(24時間)				
圧縮梱包施設	2020/3/24	廃プラスチック類	72.0t/日(24時間)	圧縮梱包 ・油圧式縦押圧縮減容機	・圧縮梱包機 ・油圧ユニット ・結束機 ・排出ローラコンベア
		紙くず	84.0t/日(24時間)		
		繊維くず	86.4t/日(24時間)		
		ガラスくず等	84.0t/日(24時間)		



処理工程図(関東支店)



⑥ 処分業者としての情報公開

4) 受託した産業廃棄物及び一般廃棄物の処理実績 (2021年4月～2022年3月)

◎ 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬量

廃棄物の種類		収集運搬量
燃え殻		354.95 t
汚泥		266.81 t
廃油		13.72 t
廃酸		0.01 t
廃アルカリ		0.00 t
廃プラスチック類		9,549.70 t
紙くず		584.55 t
木くず		3,996.78 t
繊維くず		28.70 t
金属くず		1,590.21 t
ガラスくず等		3,028.78 t
鋳さい		0.00 t
がれき類		15,672.80 t
石綿含有廃棄物	廃プラスチック	12.02 t
	金属くず	0.43 t
	ガラスくず等	189.81 t
	がれき類	57.33 t
水銀使用製品	ガラスくず等	0.69 t
	金属くず	0.42 t
	廃プラスチック類	0.35 t
特別管理産業廃棄物	廃油	0.00 t
	廃酸	0.01 t
	廃アルカリ	0.01 t
	PCB	15.21 t
	廃石綿	7.45 t
2021年度合計		35,370.74 t

◎ 産業廃棄物中間処理量

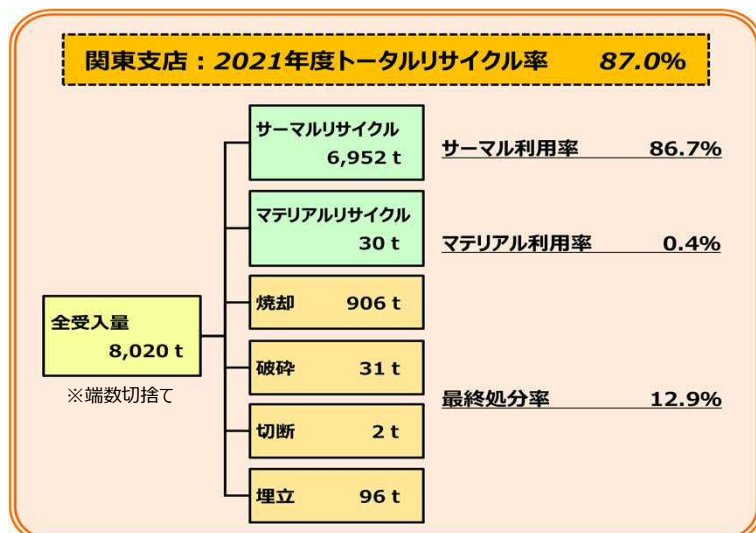
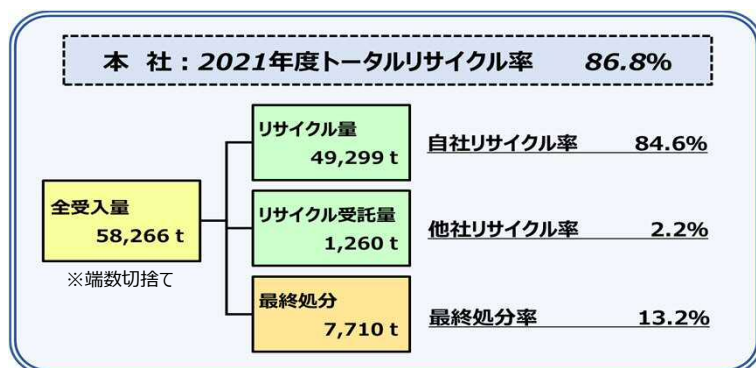
廃棄物の種類	処分方法	処分量(本社)	処分量(関東支店)
廃プラスチック類	破砕	2,902.0 t	8.9 t
	減容固化	7,617.0 t	0.0 t
	分離	213.8 t	0.0 t
	破砕・圧縮梱包	0.0 t	6,515.3 t
紙くず	破砕	1.0 t	0.0 t
	減容固化	1,090.0 t	0.0 t
	破砕・圧縮梱包	0.0 t	682.2 t
木くず	破砕	7,774.4 t	714.2 t
繊維くず	破砕	0.0 t	0.0 t
	減容固化	32.7 t	0.0 t
	破砕・圧縮梱包	0.0 t	60.6 t
金属くず	選別	0.7 t	0.0 t
	破砕	2,006.5 t	21.3 t
ガラスくず等	選別	125.0 t	0.0 t
	破砕	4,544.0 t	0.0 t
	破砕・圧縮梱包	0.0 t	17.9 t
がれき類	破砕	31,957.0 t	0.0 t
汚泥	選別	2.1 t	0.0 t
合計		58,266.20 t	8,020.40 t
2021年度総合計		66,286.60 t	

◎ 一般廃棄物収集運搬量

廃棄物の種類	収集運搬量
可燃	231.70 t
不燃	30.30 t
2021年度合計	262.00 t

◎ 一般廃棄物中間処理量

処分方法	廃棄物の種類	処分量
破砕(可燃)	木くず	43.70 t
	廃プラスチック	
	紙くず	
破砕(不燃)	ガラ陶	30.40 t
	コンクリート類	
	金属	
減容固化(可燃)	廃プラスチック	138.20 t
	紙くず	
2021年度合計		212.30 t



⑦環境測定結果



山形市との公害防止協定に基づく環境測定結果(2021年6月実施)

私たちは日々、周辺環境へ配慮をしながらリサイクル活動しております。

水質				
対象	項目	規制値	測定値	判定
場内排水① (雨水)	水素イオン濃度	5.8~8.6	7.7	○
	生物化学的酸素要求量	最大60	1.8	○
	浮遊物質	最大60	30	○
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	最大 3	1.0	○
場内排水② (雨水)	水素イオン濃度	5.8~8.6	7.6	○
	生物化学的酸素要求量	最大60	1.3	○
	浮遊物質	最大60	22	○
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	最大 3	1.0	○
生活系排水 (浄化槽)	水素イオン濃度	5.8~8.6	7.1	○
	生物化学的酸素要求量	最大60	24	○
	浮遊物質	最大60	14	○
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	最大 3	1.0	○



騒音			
測定箇所	規制値 (8時~19時)	測定値(昼)	判定
敷地境界線 No.1	65デシベル	55	○
敷地境界線 No.2		58	○
敷地境界線 No.3		48	○
敷地境界線 No.4		53	○

振動			
測定箇所	規制値 (8時~19時)	測定値(昼)	判定
敷地境界線 No.1	65デシベル	52	○
敷地境界線 No.2		30	○
敷地境界線 No.3		33	○
敷地境界線 No.4		41	○

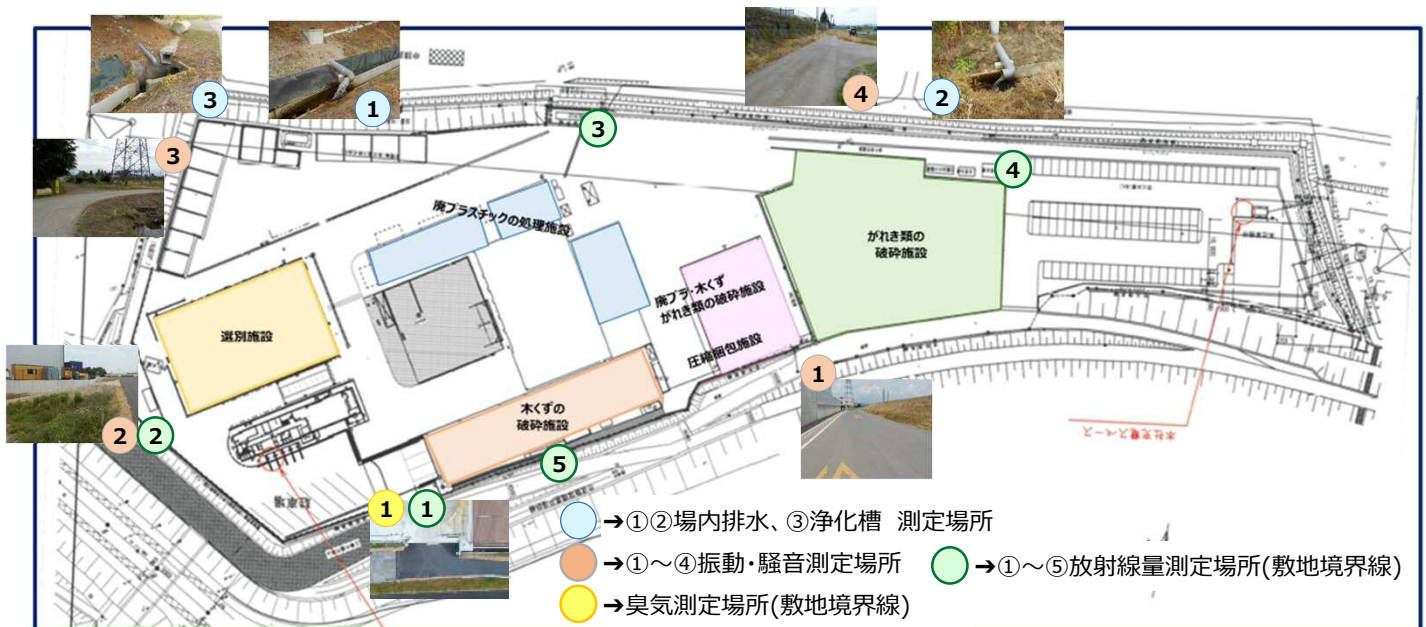
放射線量測定結果公表 (2022年3月測定)

現在、当社におきまして震災がれきの受け入れは行っておりませんが、被災県(宮城県)の一般事業所から産業廃棄物を受入れていることから、敷地境界での放射線量を測定(週一回)し、公表しております。

臭気				
敷地	項目	規制値	測定値	結果
敷地境界線	臭気濃度	15以下	10未満	○

放射線量(敷地境界線5ヶ所にて測定)				
1週目	2週目	3週目	4週目	5週目
0.03 μSv/h	0.03 μSv/h	0.03 μSv/h	0.03 μSv/h	0.03 μSv/h

測定場所図面と測定箇所の写真



5.2021年度CSRレポート

特集ページ

①【 従業員の命と会社を守るために 】

当社では、災害時訓練や火災時訓練、救護訓練などを実施し、自分の命と会社を守るため、すぐに行動ができるように訓練をしております。

また、コロナウイルスに感染防止対策も、いろいろ取り入れております。

【火災訓練】



自衛消防隊を結成し、万が一の火災に備え定期的に訓練をしております。



これは訓練です



各現場で起きうる火災事故を想定し、実践的な訓練を行っております。



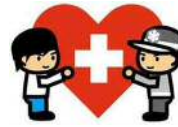
消防署員の方にご来社いただき、指導を受けながら、本格的な消火訓練も実施しました。



これは訓練です



①【従業員の命と会社を守るために】



【救護班活動】

第一種衛生管理者の資格を持つ社員を中心に、赤十字などの救急救護研修を受けたメンバーで「CS救護班」を結成しました。救護マニュアル作成や社内で行きうるケガや病気に対する応急手当などを作成しております。また、救急救護研修で学んだことを忘れないように実践に近い形の練習や訓練を行っております。



救護班のメンバーは定期的に、足や腕を骨折したときの固定法や、心肺蘇生法等の練習を行っております



当社独自の救護マニュアルや応急手当マニュアルなどを作成し周知しております。

救急箱は事務所はもちろん、各作業場内にも設置。毎年、救急箱の点検をして補充や期限の切れた薬の入れ替えを実施しております。

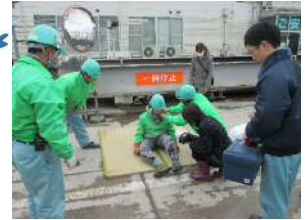


AEDは事務所と生産部管理棟の2箇所に設置。電池の交換や消耗品等の確認を適時行っております。



具合が悪くなった従業員が横になったり座ったりできるベンチ、またオレンジ色の部分を取り外せば、担架として利用することもでき、歩行困難者の搬送時に使用します。

「外で作業する従業員が足に怪我をした！」を想定した訓練。怪我の状況を確認、救急車の要請、そして応急処置。本番のつもりで、訓練しています。



地震発生時の避難中「事務所2階で怪我人を発見！」歩けない人を運ぶとき身近にある椅子を使って運ぶ練習をしました。



CS救護班は、会社従業員の怪我や病気に備え訓練しておりますが、もし災害などで近隣地域での救護活動が必要になった場合は、お手伝いできるよう今後も研修や救護用品の管理を続けてまいります。

【コロナウイルス感染症対策】



世界中でコロナウイルスの感染が広がる中、従業員の健康と会社運営をストップさせないため、様々なコロナ対策を行っております。

コロナ感染防止対策①

全従業員へのマスクの配布

当社では従業員の健康を第一に考え、感染予防に欠かせないマスクを従業員へ配布しております。コロナウイルス流行当初、急激な感染拡大の影響でマスクの在庫が無くなるという異常事態が発生、従業員よりマスクの購入ができないとの話を聞き、すぐに会社の在庫と取引先を通じ購入してきたマスクを全従業員へ配布を行いました。その後もコロナ禍で必需品になったマスク購入の負担を少なくできたら、不織布マスク2箱(100枚)を2年間で5回配布しております。今後も必要であればこのマスク配布は継続予定です。



コロナ感染防止対策③

検温モニターの設置

毎日検温による健康観察を行うようになったため、社内2カ所に非接触タイプの検温モニターを設置しました。従業員の出社時の検温の他に、来社されたお客さまにもご協力いただき、感染防止対策を行っております。



コロナ感染防止対策②

除菌スプレーや除菌消臭用加湿器の設置

会社出入り口には、足踏みタイプの除菌スプレーを設置し、外からのウイルス侵入を防止する共に、事務所や食堂、会議室等には除菌消臭用の加湿器を設置、社内に入り込んだウイルスへの対策もおこなっております。



コロナ感染防止対策④

アクリル板の設置

事務所、食堂、会議室など、人との距離が近くなりやすい場所には、飛沫防止のアクリル板を設置いたしました。また新管理棟の食堂は対面を避けるために、おしゃれなカフェ風のカウンター形式を導入しております。



②構想から12年、ついにMS工事が完工!!



お客様、そして地域の人から愛される企業であるために、騒音や粉じん問題などに配慮した施設、また災害時は燃料や電気の供給ができる設備も整いました。これからも当社のリサイクル活動にご理解とご協力をお願いいたします。



工事前の上空写真

新コンクリート
リサイクル施設完成
(がれき破碎施設)



工事計画

本社事務所完成



2010年
本社工場
廃棄物選別施設
移設計画

2016年
本社北側の用地
を取得、MS工事が
本格的に始まる

2018年4月
本社事務所
新社屋完成

2018年夏
新コンクリート
リサイクル施設
運用開始

2015年
西部工業団地に
4,800坪の
用地取得

2017年
『CSRステーション』
と命名
倉庫と車両基地
として運用

2018年7月
CSRステーション
にインタンクを設置



CSRステーション完成

完成後の上空写真



混合廃棄物
選別施設完成

破碎・圧縮梱包棟完成



完工

2022年3月
RPF保管庫
完成

2021年3月
新管理棟及び
トラックスケール
完成



RPF保管庫

2019年
破碎・圧縮梱包施
選別施設完成

新管理棟完成



トラックスケール

2019年9月
解体事業部
事務所完成

解体事業部事務所完成



談話室



インタンク設置



工事中の写真



特集ページ

③ 太陽光発電による自家発電システム稼働



当社のキャッチコピー「守ろう地球、創ろう未来」を胸に、自然エネルギーの活用でゼロカーボン「脱炭素社会」を目指しております。
その一つとして、工場内で太陽光パネルを設置しており、本社工場の木くず破碎棟屋根のパネルは全量売電、選別施設棟屋根のパネルは隣接する管理棟の電力として使用しております。

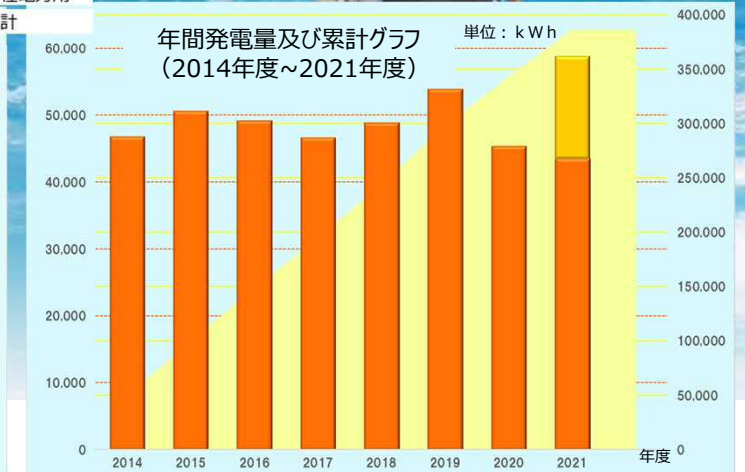
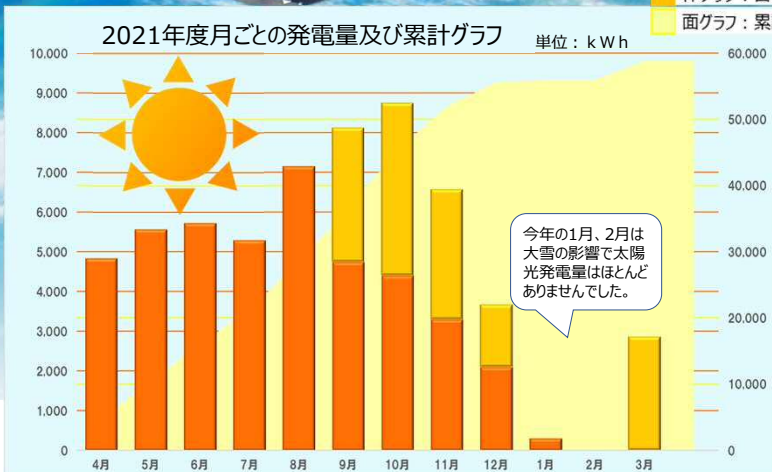
自社電力用パネル
(2021年9月スタート)



全量売電用パネル



棒グラフ：全量売電用
棒グラフ：自社電力用
面グラフ：累計



2021年度の年間発電量の累計は**58,811kwh**でした。
これは**一般家庭の約10軒**が年間使用する電力を発電したことになります。

太陽光パネルを設置してから8年間の発電量の累計は**386,773kwh**になります。
こちらを一般家庭の年間使用電量で計算すると、**約70軒分**の電力を発電していることとなります。

※一般家庭(4人家族)の年間電気使用量 約5,500 kWhで計算 (電気使用量は省エネルギーセンター発表のデータ)



④ 電気自動車用充電設備設置



電気自動車 急速充電器 (EV Powre Station) 設置しました

当社では、脱炭素社会に向けたクリーンエネルギー使用の電気自動車の普及を推奨しております。
ただ、電気自動車を普及させるには急速充電器等の設備がまだ不十分という問題があると聞き、電気自動車でお越しいただいたお客さまに打ち合わせ時間を利用して充電していただけるよう、急速充電器を2箇所に設置いたしました。
当社にお越しいただいたお客様は無料で充電できますので、お気軽に事務所までお申し付けください。



本社事務所の急速充電器



管理棟の急速充電器



〔ご利用にあたって〕
ご利用料金 無料
ご利用可能時間 8:10~16:30
充電時間の目安 4~6 kWh/時間
(天候等により若干変動します)

2021年度CSR活動実績一覧

詳しい活動内容は、掲載ページをご覧ください。

活動内容		掲載ページ
コンプライアンスの推進		
公害防止協定に係る環境測定報告	 	24ページ
ステークスホルダーとの共存共栄		
災害時ガソリン供給訓練	  	12ページ
きらやか産業賞贈呈式	    	32ページ
企業価値・利益の向上		
SDGs イベント参加(イオンモール天童)	    	
山形市民総合社会福祉大会	 	31ページ
やまがたハイブリッド環境展	   	
テレビ・ラジオのSDGsコーナーに出演	 	
企業市民としての社会貢献		
マイロードサポート 8回/年 実施	  	12ページ
NPO法人県ひとり親家庭福祉会様へ寄付	   	31ページ
ひとり親家庭福祉会様へ災害備蓄品(クラッカー)寄贈	   	31ページ
献血活動 年2回		12ページ
ホワイトシャッタープロジェクト	 	33ページ
日本赤十字社様より銀色有功賞受賞	    	33ページ
お客様・従業員満足度の向上 (環境整備含む)		
お客さまアンケート実施		34ページ
エコキャップ・ブルタブ・空き缶の回収	  	12ページ
CSグループ安全啓発ポスターコンクール		32ページ
従業員満足度調査		34ページ
防災訓練	 	25ページ
健康保持増進推進運動表彰(3年連続)	 	

2021年度CSR活動報告



NPO法人県ひとり親家庭福祉会様へ寄付を行いました

2021年4月30日、NPO法人県ひとり親家庭福祉会様へ寄付を行いました。

SDGsの支援の一つとして、「子供の日」を前に、「未来ある子供たちに何かできることは無いか」ということで今回の寄付に至りました。

引き続きこのような活動を継続できるように本業をしっかりと取り組んで参ります。



2021年5月1日山形新聞掲載記事



NPO法人県ひとり親家庭福祉会様へクラッカー2缶を寄贈いたしました

2021年10月4日、NPO法人県ひとり親家庭福祉会様へ災害備蓄品のクラッカー2缶を寄贈いたしました。

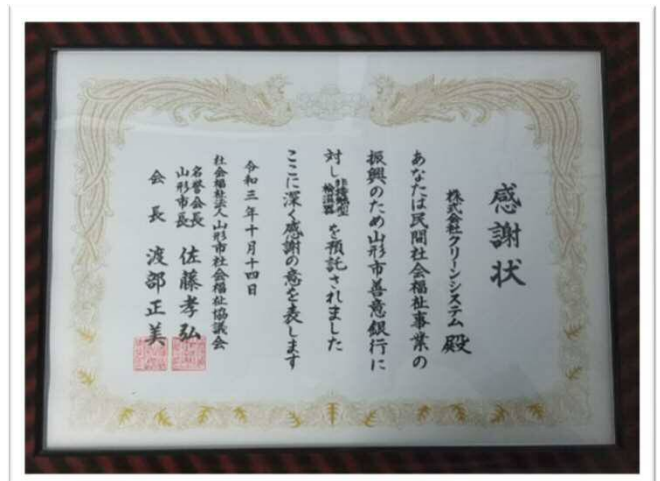
登録されているご家庭はコロナの影響でより深刻な状態であり、このような支援は大変有難いと西塚理事長(写真左)からお言葉を頂きました。子ども食堂で活用されております。

第66回山形市民総合社会福祉大会にて感謝状の受賞

2021年10月14日、今年2月に山形市社会福祉協議会様へコロナ感染症対策用として非接触型の検温計を寄贈したことに対する感謝状をいただきました。

大変光栄なことで誇らしく感じております。

また、1日でも早いコロナの終息を願っております。



きらやか産業賞受賞の受賞



きらやか産業賞とは県内中小企業・団体から技術や経営の革新、国際化などで優れた実績を上げている企業を顕彰するものです。

設立30周年の節目の年にこのような栄えある「きらやか産業賞」を受賞したこと、社員一同大変喜んでおります。これからもSDGsを推進し、「守ろう、地球。創ろう、未来」をスローガンとして、地域ナンバーワンの企業を目指して参ります。



第一回「安全啓発ポスターコンクール」開催



従業員からのアイデア提案を受け、2021年9月に第一回安全啓発ポスターコンクールを開催しました。当社グループの従業員及び従業員の家族から、安全意識が高まるようなポスターを募集するにあたり、職場での仕事の内容を知ってもらおうと、場内を見学するイベントも実施しました。お父さんやお母さんが働く職場をはじめてみる子供たちは、写真を撮ったり、質問したりして、その時感じた（見つけた）危険などをポスターに制作してくれました。



応募総数 32点

未就学児部門 5点

小学生部門 9点

中学生以上 18点

企業が協賛 消防力向上

山形市 車両に社名、ボート配備

民間企業との連携で自治体の消防力向上を図る取り組み「ホワイトシャッター」プロジェクトに参画して、山形市消防本部は、消防車にお披露目された水害救助用ボートに、山形市消防本部のロゴが入ったシャッター部分に協賛企業のロゴが掲げられた。山形市消防本部は、消防車にお披露目された水害救助用ボートに、山形市消防本部のロゴが入ったシャッター部分に協賛企業のロゴが掲げられた。



2021.10.29山形新聞

り、市消防本部には水害救助用ボート1隻が提供される。山形市消防本部は、消防車にお披露目された水害救助用ボートに、山形市消防本部のロゴが入ったシャッター部分に協賛企業のロゴが掲げられた。

協賛企業は、山形市消防本部の消防力向上を図る取り組み「ホワイトシャッター」プロジェクトに参画して、山形市消防本部の消防車にお披露目された水害救助用ボートに、山形市消防本部のロゴが入ったシャッター部分に協賛企業のロゴが掲げられた。

協賛企業は、山形市消防本部の消防力向上を図る取り組み「ホワイトシャッター」プロジェクトに参画して、山形市消防本部の消防車にお披露目された水害救助用ボートに、山形市消防本部のロゴが入ったシャッター部分に協賛企業のロゴが掲げられた。

ホワイトシャッタープロジェクトへの協賛

一般社団法人PFI支援機構様が推進している自治体の消防活動を支援する官民連携プロジェクトです。今回当社が全国で2例目となる協賛を行い、水害救助用ボートの提供と同時に、ポンプ車に当社ロゴが掲載されました。(2022年10月末まで)



山形市より感謝状をいただいております



日本赤十字社様より銀色有功章受賞



当社施設内に設置している赤十字社支援型自動販売機の寄付累計額が20万円以上に達したため銀色有功章をいただきました。(銀色有功章とは一時または累計額が20万円以上50万円未満の活動資金の寄付者へ贈呈されるものです。) 日本赤十字社様の、国内外での人道支援活動は、企業等からの寄付による支援で行われています。災害時の被災者救護や新型コロナウイルスなどの感染症拡大防止への対応、防災・減災の普及啓発やボランティアの育成など、いのちを救うさまざまな活動ができるよう、これからも当社ではこの活動は継続していきたいと思っております。



赤十字社支援型自動販売機を社内2カ所に設置。従業員やお客様がこちらの自動販売機で購入することで、購入金額の一部収益が赤十字社様へ寄付されております。



お客様アンケート調査を実施しました

日頃からお取引のあるお客様へ、アンケート調査を実施しました。当社の「強み」や「弱み」また「不満(改善箇所)」など、お客様からの生の声を聞くことで、これから顧客満足度向上に向けて何を重点にすべきなのかが判明しました。今後も当社はお客様に愛される企業であるため、お客様の声を大切に取り組みでいきたいと思ひます。

アンケート内容

調査項目: 商品満足度、サービス満足度、アフターサービス満足度

調査期間: 2021年10月1日～10月31日

調査対象: 2021年10月1日～10月31日にお取引いただいたお客様

調査方法: 郵送付アンケート

調査結果: 有効回答数 1,234名

調査結果の概要: 商品満足度は85%、サービス満足度は80%、アフターサービス満足度は75%と、全体的に高い満足度を得ています。ただし、アフターサービスの対応スピードに改善の余地があることがわかりました。

アンケート結果

2021年 アンケート結果

商品満足度	85%
サービス満足度	80%
アフターサービス満足度	75%
価格満足度	70%
品質満足度	88%
アフターサービス対応	72%
アフターサービス対応スピード	68%
アフターサービス対応内容	78%
アフターサービス対応態度	82%
アフターサービス対応の丁寧さ	80%
アフターサービス対応の親切さ	85%
アフターサービス対応の柔軟性	75%
アフターサービス対応の迅速さ	65%
アフターサービス対応の正確さ	80%
アフターサービス対応の丁寧さ	80%
アフターサービス対応の親切さ	85%
アフターサービス対応の柔軟性	75%
アフターサービス対応の迅速さ	65%
アフターサービス対応の正確さ	80%

2015年 アンケート結果

商品満足度	82%
サービス満足度	78%
アフターサービス満足度	72%
価格満足度	68%
品質満足度	85%
アフターサービス対応	70%
アフターサービス対応スピード	65%
アフターサービス対応内容	75%
アフターサービス対応態度	78%
アフターサービス対応の丁寧さ	75%
アフターサービス対応の親切さ	80%
アフターサービス対応の柔軟性	70%
アフターサービス対応の迅速さ	60%
アフターサービス対応の正確さ	75%

弊社の強み

アフターサービス対応の迅速さ: 85%

アフターサービス対応の丁寧さ: 80%

アフターサービス対応の親切さ: 85%

アフターサービス対応の柔軟性: 75%

アフターサービス対応の迅速さ: 65%

アフターサービス対応の正確さ: 80%

お客様からの意見・ご要望

アフターサービスの対応スピードをさらに速くしてほしい。 (10名)

アフターサービスの対応内容をさらに充実してほしい。 (8名)

アフターサービスの対応態度をさらに丁寧にしてほしい。 (7名)

アフターサービスの対応の親切さをさらに高めてほしい。 (6名)

アフターサービスの対応の柔軟性をさらに高めてほしい。 (5名)

アフターサービスの対応の迅速さをさらに速くしてほしい。 (4名)

アフターサービスの対応の正確さをさらに高めてほしい。 (3名)

従業員満足度調査を実施しました

従業員の会社に対する満足度を調査するため、アンケートを実施しました。アンケートを集計した結果、特に課題として挙げられた5項目について、その要因を調査し改善するための「働き方改革ワーキングプロジェクト」を立ち上げ、従業員の幸せ指数を上げるためにどうすべきかを研究しております。また、このアンケートを継続的に実施し、従業員の満足度がどのくらい改善されたかを調査していく予定です。

幸せバケツ

総合満足度: 58.1点

ワークライフバランス: 12.8点

給与満足度: 8.5点

キャリア開発: 14.6点

ワーク環境: 8.0点

全社平均: 9.2点

課題データ

項目	満足度	改善率	優先度	
ワークライフバランス	12.8	0.61	0.59	0.04
給与満足度	8.5	0.80	0.81	0.05
キャリア開発	14.6	0.75	0.49	0.48
ワーク環境	8.0	0.60	0.61	0.65
総合満足度	58.1	0.43	0.42	0.48

経年比較グラフ

項目	2019年	2020年	2021年
ワークライフバランス	12.5	12.8	12.8
給与満足度	8.2	8.5	8.5
キャリア開発	14.0	14.6	14.6
ワーク環境	7.8	8.0	8.0
総合満足度	57.5	58.1	58.1

KEY ISSUE

ワークライフバランスの改善が急務であることがわかった。

給与満足度の向上が今後の課題であることがわかった。

キャリア開発の機会が不足していることがわかった。

ワーク環境の改善が今後の課題であることがわかった。

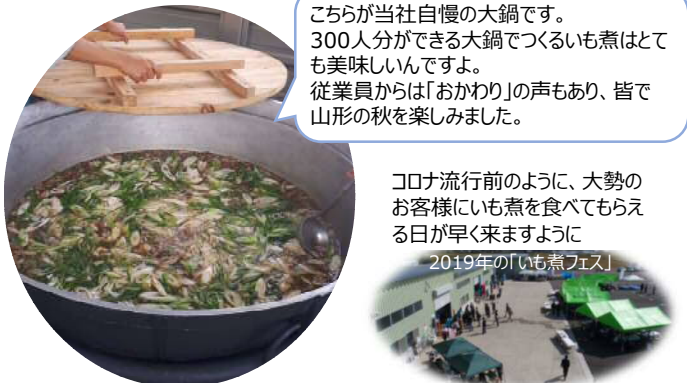
山形県や山形市の代表選手として活躍する従業員を応援

当社には、駅伝、バスケットボール、弓道など県や市の代表選手として活躍している従業員がおります。コロナ禍で直接大会会場へ行くことはできなかったのですが、壮行式を行うなど、全社員で応援しております。



山形の秋といえば、いも煮会

クリーンシステム名物の大鍋でつくるいも煮 毎年恒例の「いも煮フェス」は、コロナウイルス感染症の流行の為、2年連続でお客さまを招待しての開催ができませんでした。でも「やっぱり山形の秋はいも煮」ということで、10月に大鍋を使っていも煮をつくり、お昼休みに従業員へふるまいました。



コロナ流行前のように、大勢のお客様にいも煮を食べてもらえる日が早く来ますように
 2019年の「いも煮フェス」



 **クリーンシステム**
CLEAN SYSTEM



クリーンシステムの情報閲覧はこちらからどうぞ
HP <https://www.csyam.com/>

SNSもご覧ください！



Facebook



Twitter